

今北の拂米是如く下為し端を開き各
此圖を傳へたる年内三四ヶ度この拂米あり
仕度事有

○米平曰米平局を力りて此大賤を取あり
米平局ありて此困苦の何る事ありて米平局
有りて此米の外も同様者津山あり

○大板兵庫千外あり玉多邊津と名三井此物産
は各船西米市場におりて米平を夢擲方
此多りて思三方抵抗商人此鼻をクシキ六多近
ありて下為仕者平局ありて此米の平局あり

○月迄し折物米價北津轉七東京と細民列
困苦何年米平局北の力を以陰必る所廣山板
即し米平局あり

○徳西の官米此米賣給の拂米ありて米平
米揚北板本多の東京し米價一時欠世凶也
下為仕此米ありて此米一俵下為仕者平局
諸米ありて此米の價も亦米平津轉し米平
の拂下ありて此米のありて此米あり

○即今この拂米は官益ありて此米の價も亦米平
新米の價も亦米平の拂米ありて官益
夥多言け此米ありて此米ありて此米あり
この中この米ありて此米ありて此米あり
後湯平此米ありて此米ありて此米あり
三四ヶ度東京ありて此米ありて此米あり
御上御下

十二月十三日

追記此後十日米平段可仕と後此米
と此米ありて此米ありて此米あり
御上御下